

橋本市

青少年センターだより

平成27年(2015年)9月号

橋本市教育委員会 社会教育課
(青 少 年 セ ン タ ー)

TEL/FAX (0736) 32-2124

《Eメール》genki@3rd.city.hashimoto.wakayama.jp

お彼岸

春分・秋分は二十四節季のひとつで、暦の上では春と秋の折り返し地点です。

仏教では、私たちの住む世界をこちらの岸、三途の川を挟んでご先祖様の霊が住む世界をあちらの岸と考えられていて、こちらの岸を此岸(しがん)、あちらの岸を彼岸といいます。この極楽浄土は西の彼方にあるとされているため、太陽が真西に沈む春分・秋分にお墓参りや先祖供養を行うようになりました。これは仏教にはない習慣で日本独自のものだそうです。

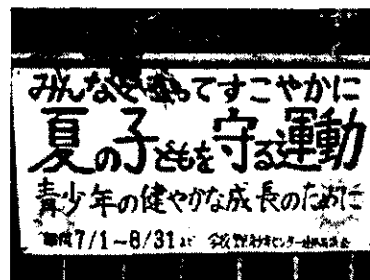
これは春分の日と秋分の日に定められた日本人の文化に理由があるという説があります。内閣府が発表している「国民の祝日について」には、春分の日：自然をたたえ、生物を慈しむ、秋分の日：祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶとあります。元々農耕民族であった日本人には仏教が伝来する前から先祖供養と自然に感謝する習慣があり、お彼岸にお墓参りする文化には、「生かされていることへの感謝」「ご先祖様への感謝」をする大切な節目と捉えた日本独特の価値観が息づいていきます。

是非みなさんもお彼岸にお墓参りを！

「夏の子どもをまもる運動」 ご協力 ありがとうございます

7月1日から始まった“夏の子どもをまもる運動”は8月末をもって終わりました。大きな事故や事件もなく、無事に終了することができました。補導員さんや学校の先生方、また関係機関の皆さま方には、期間中、特別補導や各種行事に積極的にご参加いただきありがとうございました。これから先も子どもたちに関心を持ち、青少年との壁を作らず、気軽に挨拶を交わし合える地域となることを願っています。

子どもたちは、身も心もリフレッシュし、気分新たに学校生活を送っていることと思います。一人ひとりの子どもの豊かな成長を願って、私たち大人も精一杯がんばらなければと思います。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。



～学警青特別補導～

隅田中校区補導 (7/22)
学文路中校区補導 (7/23)
高野口中校区補導 (7/24)
紀見北中校区補導 (7/28)
橋本中校区補導 (7/29)
西部中校区補導 (7/31)
紀見東中校区補導 (8/ 3)
市内全域補導
(7/30, 8/20, 8/21)

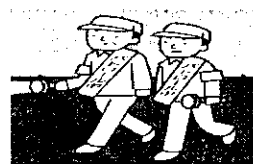
～夏祭り～

隅田地区夜店 (7/ 9)
住吉祭り(高野口) (7/26)
サマーボール (8/ 1)
盆踊り大会(学文路) (8/30)



～夜間補導～

高野口地区補導 (7/25, 8/21)
三石台地区補導 (7/18, 8/22)
柱本地区補導
(7/24, 7/31, 8/ 7)
紀見東地区補導
(7/24, 8/ 7, 8/21)
西部地区補導(8/21)



8月の補導活動状況

学 別 行 為	小 学 生		中 学 生		高 校 生		有 職 少 年		無 職 少 年		そ の 他		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
喫 煙					2		4				2		6	2
深 夜 徘徊			6	1	2	8	1	0	1	1	1		4	6
粗 暴 行 為														1
急 走 行 為					4									4
暴 走 行 為														
飲 酒											1		1	
合 計			6	1	3	2	1	4	1	1	4		5	7

有 害 図 書 等 回 収 状 況

有 害 図 書					そ の 他				
雑 誌	マンガ・小説	DVD・ビデオ	合 計		雑 誌	マンガ・小説	DVD・ビデオ	合 計	
18	5	9	32		16	21	0	37	

9月 主な行事予定

2日(水) おまわりさんと安全教室
(西部地区公民館)

8日(火) 子ども安全教室
(三石台幼稚園)
県センター長・理事会
(かつらぎ町)

11日(金) 高野口地区夜間補導
(20:00 高野口地区公民館)

26日(土) 三石自主防犯パトロール
(19:50 フォレスト前)

センターのりどり」

近年は第3次アウトドアブームと言われ、夏休み家族やグループでキャンプを楽しんだり、音楽の「野外フェス」に参加するなど盛り上がりを見せているそうです。「山スカ」、「山ガール」なる言葉を耳にした方も多いのではないのでしょうか。アウトドアの必須アイテムである「テント」も本格的なものからワンタッチで設営できる簡易テントまで多種多様なものが出ています。

簡易テントを持って夜中街中を彷徨っていた中学1年生の男女生徒が凶悪犯罪の犠牲になりました。この事件、犯人の猟奇性、身元が判明するまで要した時間、深夜中学生が街中でのことに対する無関心、そして彼らの家庭環境…現代の青少年を取り巻く様々な問題点を含んだ事件であると思います。

人口20万人を超える大阪東部の中核都市でしかも駅前。一晩中人通りがあるような場所にもかかわらず彼らの足取りが確認されたのは各所に設置された防犯カメラの映像であったのがなんとも皮肉に思えてなりません。24時間営業のお弁当屋さんのベンチに腰掛けている二人の映像があるのに、その従業員やお客は彼らに気づいていなかったのか、それとも気づいていても関わろうとしなかったのか。防犯カメラの有効性は実証されましたが、何か釈然としない気持ちが残ります。

家を出る彼女はどんな想いでテントをもったのでしょうか。キャンプに行くような楽しい気持ちでなかったことは容易に想像がつかます。情報によると、その夜までにも玄関を出た庭先にテントを立てて寝ていたとか…

社会保障が専門のフリーライターみわよしこさんは、「今回の事件で決定的に足りなかったのは、子ども達の安全な居場所」と論じています。家庭に居場所を見いだせず、児童相談所が思うほど機能していない現状の中で、本市でもこの事件を対岸の火事ではすまされない状況があります。生活様式の変化、家庭の教育力の低下や貧困化など、子どもたちの健全な成長を妨げている課題を解決しようとする本気さが感じられないのは小欄だけでしょうか。

天国では楽しくテントを立てていることを願いながら、彼らの冥福を祈ります。